

統計調査員として49年 128回の統計調査に従事

福井 寛さん(美国町)が瑞宝単光章を受章

平成21年秋の叙勲で、統計調査功労者として福井寛さん(美国町・72歳)が瑞宝単光章を受章されました。11月11日に東京都内のホテルで行われた勲章・勲記の伝達式に出席され、伝達式終了後、皇居において天皇陛下の叙勲拝謁を受けられました。

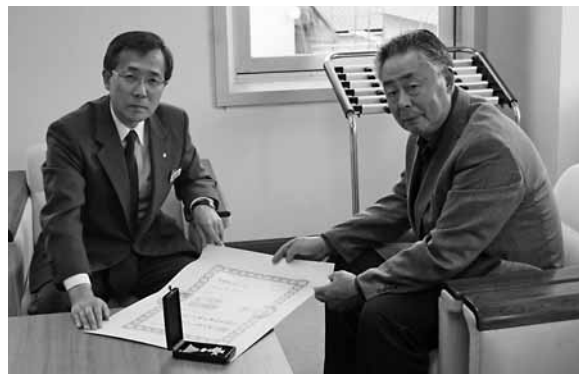
種の行政施策の基礎資料となる重要な統計調査員の任務を遂行されてきました。また、調査指導員としては、自らの調査員の経験を十分に生かし、他の調査員からの信頼も厚く模範となっていました。

福井さんは、昭和35年から49年間の統計調査員在中に、国勢調査員2回、国勢調査指導員7回、事業所統計調査員11回、工業統計調査員49回、漁業センサス調査員9回など合計128回の統計調査に従事され、国の各

訪れ、松井町長に受章の報告をされ、松井町長からは「長年の統計調査活動の振興に尽くされたご功績に敬意を表します。将来の地域づくりの基礎となる統計調査事業の充実発展に変わらぬご理解とお力添えを。」とお祝



いと感謝のことがありました。福井さんは「長年、統計調査員としての活動を行い栄誉ある受章に感激をしています。天皇陛下と間近でお目にかかることができ、一生の思い出となりまし



た。今後も統計活動を通じて、地域社会に貢献したい。」と受章の喜びとこれからの抱負を語っておられました。

また、11月19日には福井さんが副会長を務める積丹町統計調査員協議会(川井順應会長)では「叙勲受章祝賀会」を催し、福井さんの受章を祝いました。町の誇りでもある受章を心から祝し、今後ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。



▲移動展示の様子(総合文化センター)



▲小原さんと斉藤くんの作品

「MOA美術館小樽児童作品展」
小原百花さん(入舸小6年) 入賞
斉藤文瑠くん(日司小1年) 書写
絵画の部4名・書写の部1名入選

財団法人エム・オー・イー美術文化財団が運営するMOA文化美術館(静岡県熱海市)では小学生を対象に全国規模の作品展を平成元年から開催しています。小樽児童作品展実行委員会(久田委員長)では、小樽市をはじめ余市町、古平町、仁木町、積丹町、赤井川村の児童の作品を募集し、絵画の部に281点、書写の部に87点の応募があり、11月8日に表彰式(小樽市美術館)が催されました。このうち絵画26点、書写18点が入賞。町内の児童では絵画の部4名、書写の部1名が入選しました。

また、11月11日から15日まで

- 絵画の部
 - 〈積丹町長賞〉 小原 百花さん(入舸小6年)
 - 〈金賞〉 阿部 有華さん(美国小5年)
 - 〈佳作〉 長谷川 蓮くん(美国小5年)
 - 成田 琴実さん(美国小1年)
- 書写の部
 - 〈積丹町教育長賞〉 斉藤 文瑠くん(日司小1年)

町・国一体の森林整備が行われています

議員が町有林(分収造林地)視察

—森林の保育施業を新たな町の公共事業に—

視察内容

〈第1回目／5月21日〉

婦美団地(丸山地区)ではモデル事業として、保育間伐で生じる伐倒木を林内に放置せず、造材・集積までを一連の保育施業として実施し、集積した材を販売する事業を地元業者が施業しています。建設業から林業へと異業種の取組として期待されています。



▲婦美(丸山)地区

〈第2回目／11月17日〉

神岬団地の森林は昭和53年から平成16年の間に植栽しているため、樹令5年から31年と幅広く、下刈から除伐までの保育の状況が見ることができ、森林の構造が分かりやすい団地



▲神岬団地

です。金丸札幌水資源整備事務所長から「今後の保育施業や作業道の整備状況、また、国有林を經由して余別団地へ入るための基幹作業道の整備計画」の説明を受けました。

「風倒木被害の地に新たな森の再生を」 漁協積丹支所(女性部)11人が植樹活動に協力

町と石狩森林管理署(瀬戸口署長)は10月30日に、平成16年の台風18号による風倒木被害が大きかった来岸町市街地から1.5km山あいの国有林(200ha)内に、森を再生しようとドマツの苗木100本を植樹しました。今回の植樹は『積丹地域森林整備推進協定』の啓発活動の一環として行われ、東しゃこたん漁業協同組合積丹支所の女性部11人が参加協力のもと行われま




この日は冷たい風が吹く中、約1時間かけて厳しい冬の風雪に耐えるよう願いを込めて丁寧に植えていました。



「積丹地域森林整備推進協定」とは

昨年、平成20年11月20日に、隣接する町有林と国有林の森林整備を連携して進め道内初の「積丹地域森林整備推進協定」が積丹町・石狩森林管理署・(独)森林総合研究所の3者で締結されました。

協定締結前		協定締結	協定締結後
共同施業団地内では、町有林・国有林がそれぞれ作業道の整備が進められている。	余別団地		すでに路網が整備されている国有林側から町有林へ、また、町有林側から国有林へ入る作業道の使用が可能となり、相互の作業道を活用し、森林の整備が可能となる。
	余別地区		
	丸山地区		
	婦美団地	六地区	町有林と国有林が基盤整備の連携 <ul style="list-style-type: none"> ① 作業の効率化 ② コストの軽減 ③ 森林資源の有効活用 ④ 間伐などの森林整備・保全の加速化 ⑤ 温室効果ガス削減など